

学校評価

令和2年3月に、教育活動の充実のために、学則第2条に基づき、学校運営に関する自己評価を実施し、教育運営委員会にて学校評価として審議した。評価は、「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」*に基づいて、9カテゴリー125項目である。

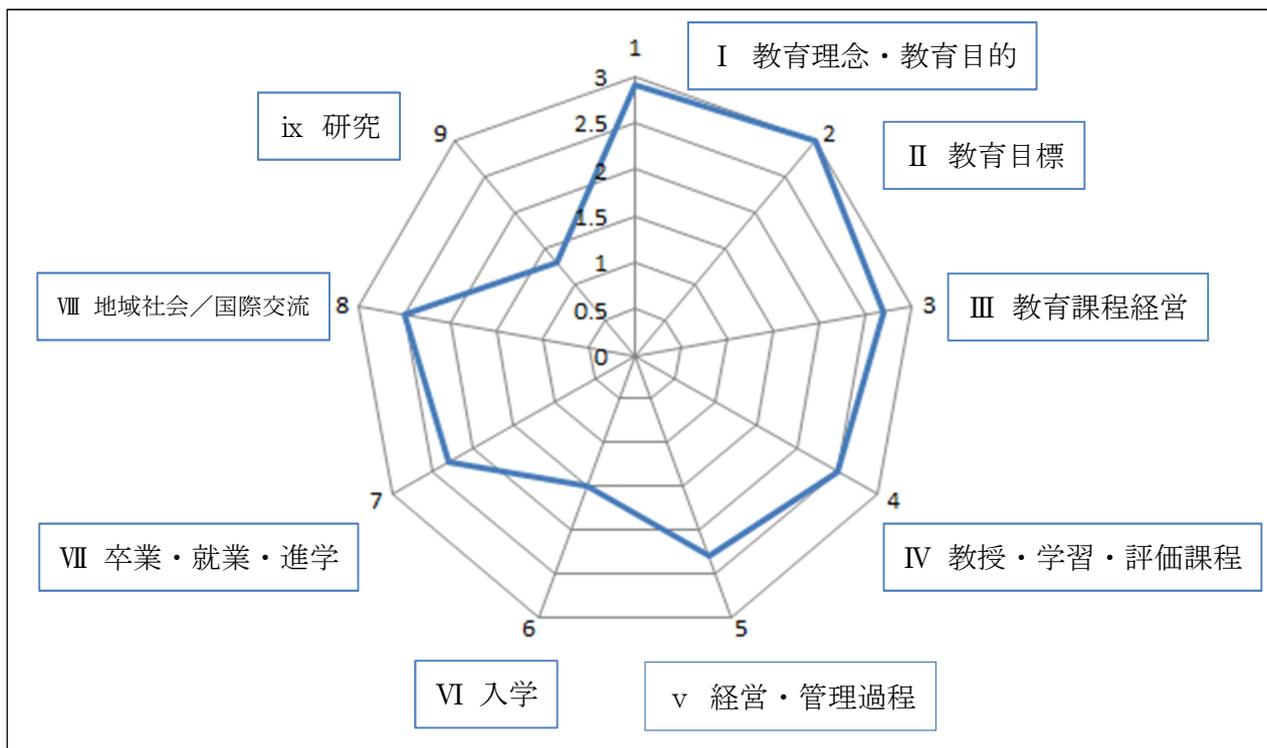
基準は、3点：あてはまる、2点：ややあてはまる、1点：あてはまらないとした。

評価項目	評価の概要	項目数	評価の平均 (四捨五入)
I 教育理念・教育目的	養成所の教育理念・教育目的が、教職員と学生に理解され、卒業時の学生の様子に反映されているか。	11	2.9
II 教育目標	教育理念・教育目的と教育目標が一貫しているか。教職員と学生が目標を理解しているか。	7	3
III 教育課程経営	教育理念・教育目的の達成に向けて、教育目標が達成できる一貫した科目構成になっているか。	31	2.7
IV 教授・学習・評価過程	教育理念・教育目的の達成に向けて、講義・実習の内容の精選が行われ計画的に実施・評価されているか。	17	2.5
V 経営・管理過程	将来構想を元に計画的に管理運営しているか。学生生活の支援体制が整っているか。	36	2.3
VI 入学	教育理念に基づいた学生の確保のため、適正な選抜と、実施状況の分析をしているか。	2	1.5
VII 卒業・就職・進学	卒業時の到達状況、進路、国家試験の合格状況を分析し、教育活動に生かしているか。	8	2.3
VIII 地域社会/国際交流	地域社会のニーズをふまえた社会貢献ができているか。国際的視野をふまえた教育がされているか。	10	2.5
IX 研究	教員の研究活動の実施状況。研究活動の支援体制が整っているか。	3	1.3
平均			2.3

※ 2003年「厚生労働省の看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針検討会」報告書

「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」 <点検> (評価内容) 一覧

結果



概観

岩手県立二戸高等看護学院は、県民の健康の担い手として活動できる質の高い看護師を育成することを責務としている。直近数年間、現役の国家試験合格率が100%であり、就職希望者はほぼ100%が県内外の医療機関（特に医療局）に入職しており、進学希望者に関しても、多くの学生が希望をかなえている。

特徴としては、学生と教員との関係性がよく、生活・学習面で親身になった相談ができていること、看護技術練習を重ね身につけていること、そして沿岸地域に東日本大震災直後から、歌声やハンドマッサージによる訪問支援活動を続けていることである。この交流は、看護を志す学生にとって大切な様々な事柄を考える・感じる心、及び優しさを育んでいる。

課題

入学、研究が今後改善が必要な領域であり、検討を重ねていきたい。